

Fujitsu Experience Day Fukuoka 2026

HealthCare Management Platform ご紹介資料

2026年9月10日
富士通Japan株式会社



- HealthCare Management Platformが目指すビジョン
- HealthCare Management Platform Dashboard360
- HealthCare Management Platform Contents
- Healthcare Navigation Service

病院運営において効率性と効果の最大化を実現し 日本の急性期医療の持続可能な未来を創造する

急性期医療は重症患者を多く受け入れ
適切な期間で高度な治療を行うことが求められており
患者フローのマネジメントが重要です。

富士通はカルテに蓄積されたデータを中心に
経営と現場へ患者フローの最適化を支援し
持続可能な医療体制の実現を目指します。



持続可能な医療体制の実現に向けて

急性期病院の運営と経営を**患者フローの最適化**により支援します。

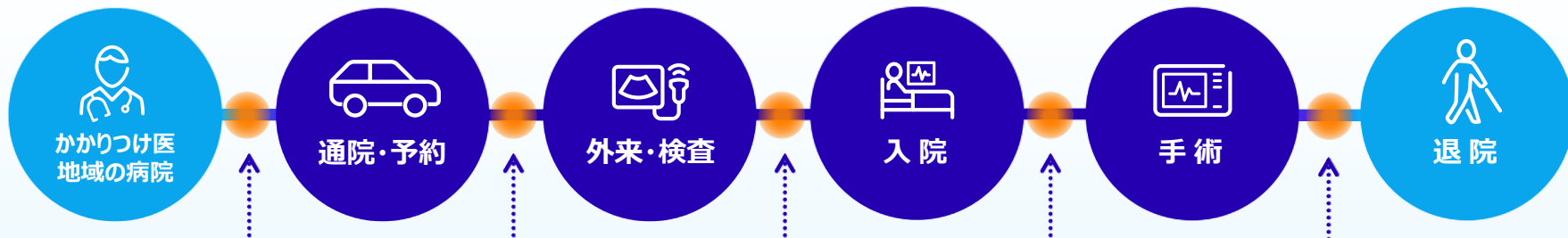
紹介患者の獲得

外来診療の混雑

入院や手術への待機

稼働率の低下

医療者の負担増



入院前から退院後までをデータやAIを活用して最適化・効率化

HealthCare Management Platform



収益の最大化

早期治療の実現

医療従事者の働き方改善

患者の利便性向上

ビジョンを実現する仕組み

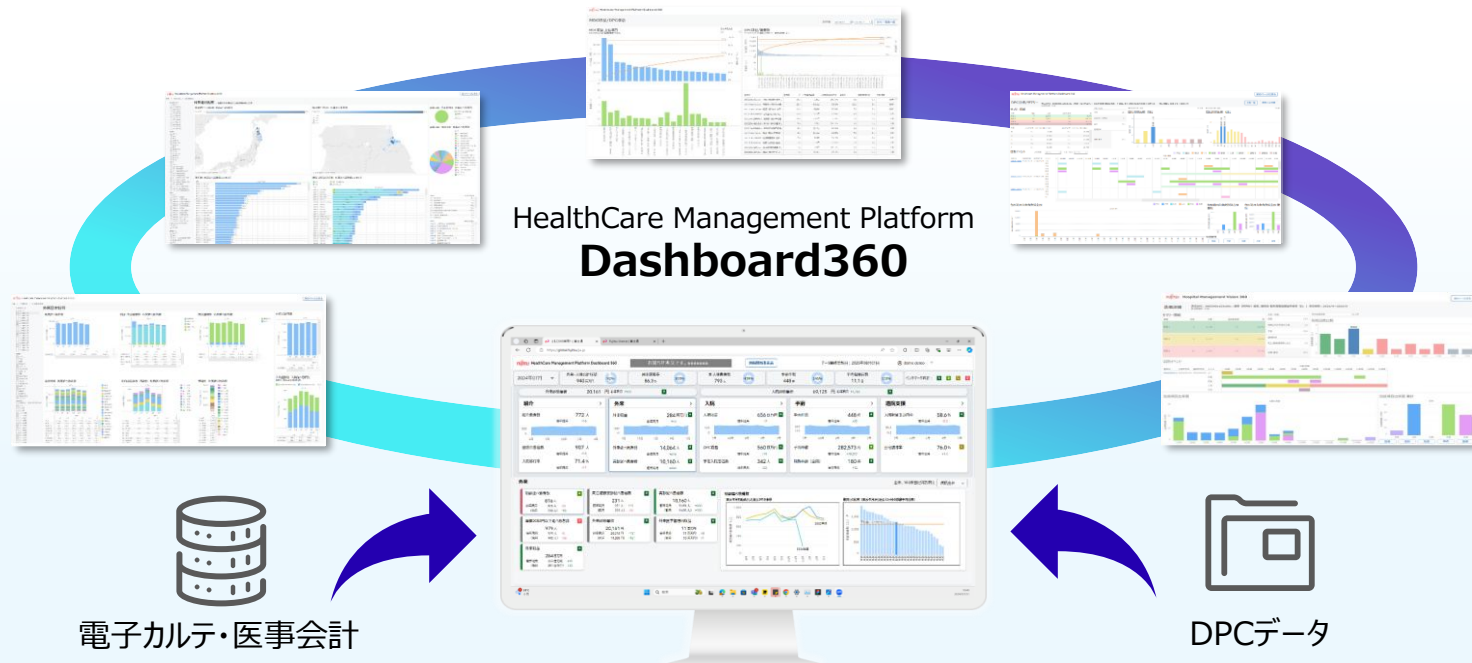
Dashboard360で経営課題を可視化し、電子カルテシステムを介してContentsが現場へ気付きやアラートを表示。
NavigationServiceと連携して患者フローの最適化と高稼働を実現する経営改善を支援します。



HealthCare Management Platform Dashboard360

Dashboard360とは？

- 電子カルテ・医事会計システムのデータを基に医業収益の構造と課題をタイムリーに可視化
- 匿名化DPCデータを活用した他院とのベンチマークにも対応





1. 利便性の向上



2. 分析の質向上



3. 職員負荷軽減



4. 属人化脱却・ 継続性

- 経営指標をタイムリーに可視化
- 歯科・自費等のデータも可視化
- 必要なデータは自動取り込み
- 簡単UIで人に依存しない分析へ
- 電子カルテ端末から操作可能
- 他病院とのベンチマーク比較も可能
- 資料作成や会議準備を効率化
- システム導入・利用料は0円*

*別途BIツールライセンス料（Tableau）が必要となります

機能概要 (1) TOP画面

- 自動で週1回更新される情報から病院経営の概観をタイムリーに確認できます
- 概観から詳細情報へドリルダウン（外来View・入院Viewを表示）して分析できます

KPI表示

進捗やKPI達成状況をタイムリーに把握することができます

状況サマリ表示

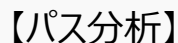
各フェーズでの収益・患者数等のサマリを表示します

関連指標・グラフ表示

状況サマリで選択した項目（例：外来）に関連する指標・グラフを表示します



- 【DPC分析サマリー画面】

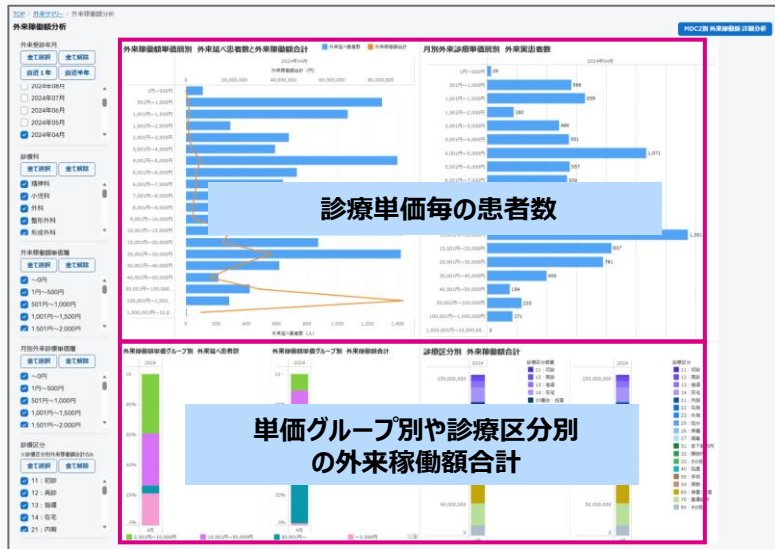


© 2026 Fujitsu Japan Limited

機能概要 (3) 外来View

- 年月や診療科等の条件を設定して、外来患者数や稼働額等の詳細を分析できます

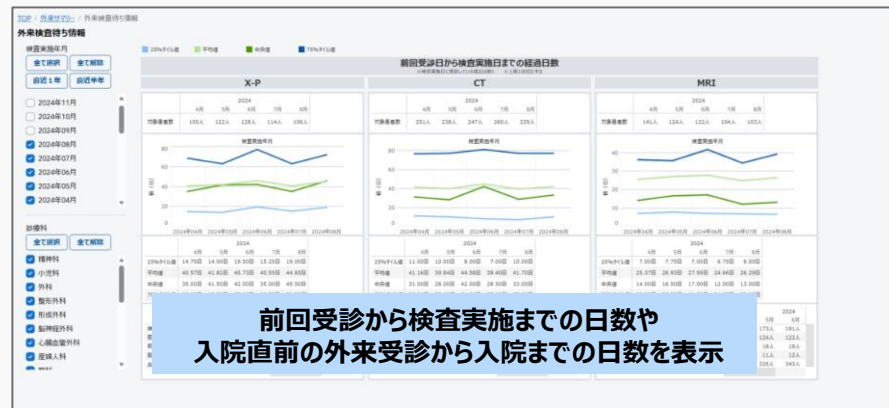
【外来稼働額分析】



分析例

2,000円以下（再診料・処方箋料）の患者はクリニック等へ逆紹介して医師・スタッフの負担軽減へ繋げる

【待ち情報析】



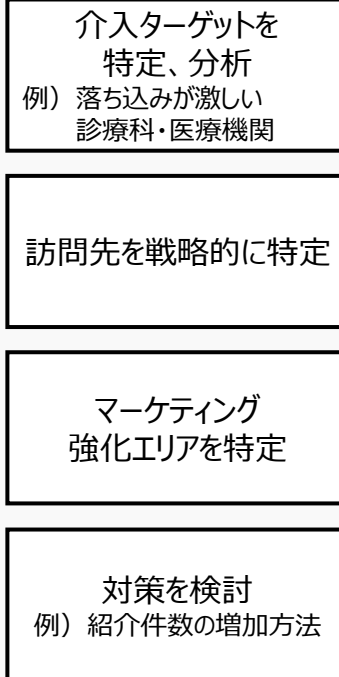
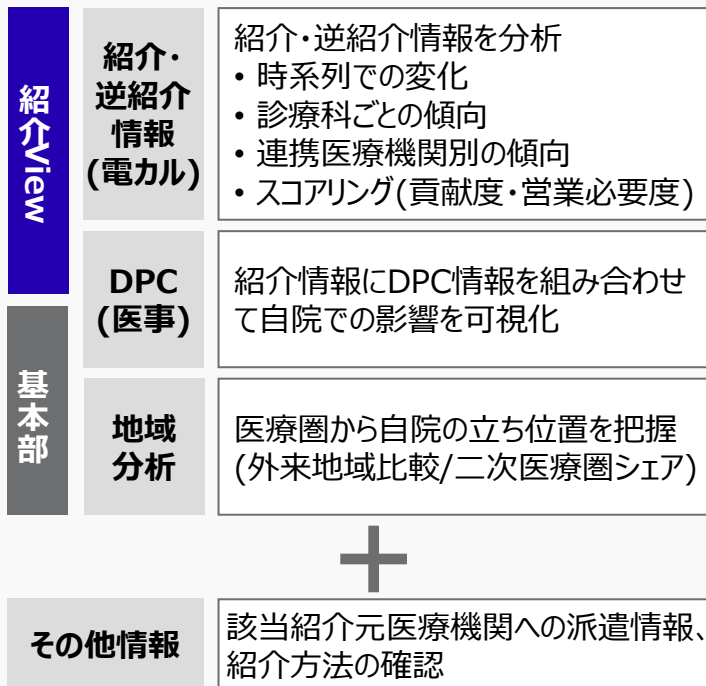
分析例

検査・画像待ちや入院待機患者の日数を把握し
ボトルネックの解消に繋げる

機能概要（4） 紹介View（有償オプション）

● 紹介・逆紹介に関する重要指標を可視化・分析して、集患に向けた分析やNextアクションを策定

【集患施策検討の全体像】



【紹介Viewの画面例】



Dashboard360におけるベンチマーク機能を提供するため、貴院のレセプト・DPCデータのご提供をお願いしております。ご提供いただいたレセプト・DPCデータは弊社ならびに弊社委託先で仮名化・匿名加工した上で利活用いたします。また、匿名加工したデータは弊社委託先を通じてアカデミア・製薬企業等にも提供させていただきます。匿名加工したデータの提供を通じて治療法や創薬等の研究活動を支援し、医療の発展やヘルスケアデータの循環型利活用を推進いたします。

【スキーム全体像のイメージ】



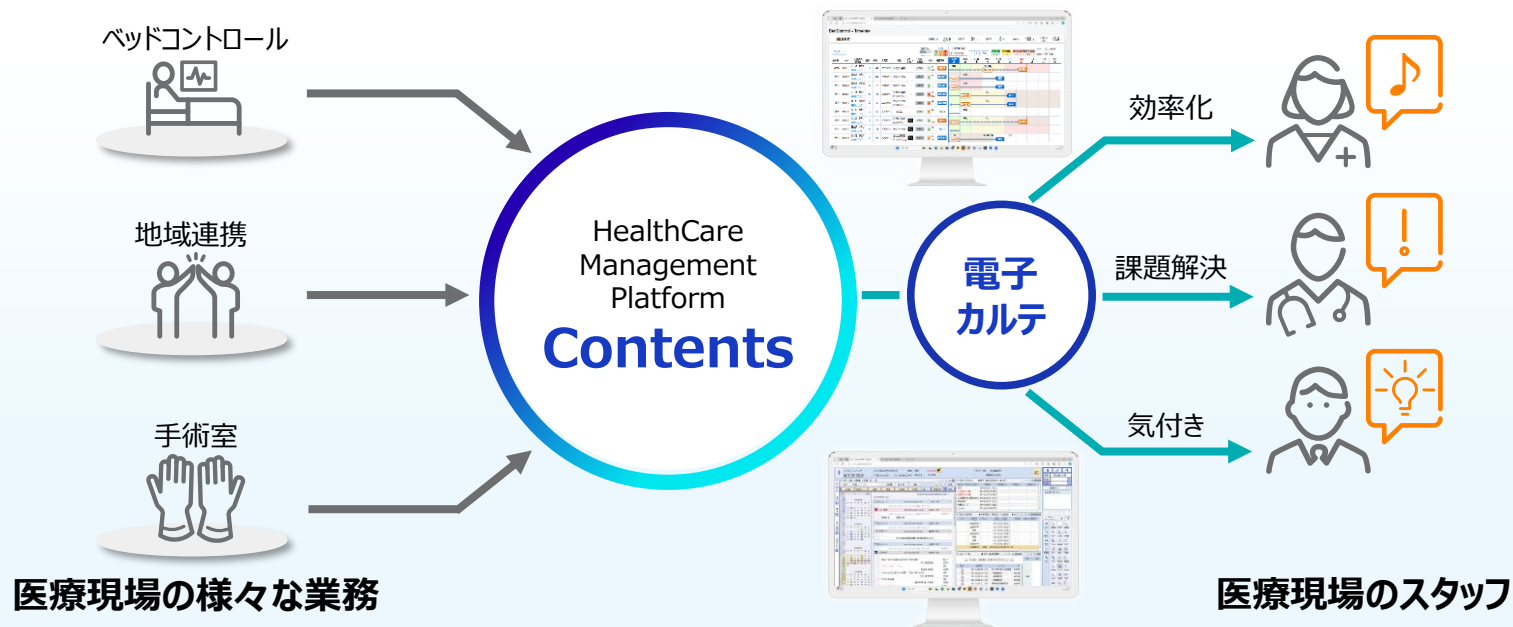
【ご提供/活用データ一覧】

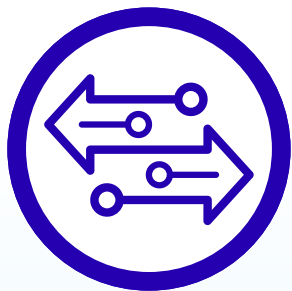
レセプト請求ファイル : 医科・DPC（保険種別 国保・社保）

DPC調査ファイル : 様式 1 ファイル、様式 4 ファイル、Dファイル、外来EF統合ファイル（※）、入院EF統合ファイル（※）、Hファイル
※E、Fファイルは、外来、入院別にEF統合ファイルのご提供をお願いいたします

HealthCare Management Platform Contents

- 日常業務のバディとして電子カルテ端末を通じて医療現場の効率化や課題解決をサポート
- ベッドコントロール、前方後方連携、手術室マネジメント等、対象業務は順次拡大予定





1. タイムリーでシームレスな表示

- 電カル情報からタイムリーに表示
- 病床管理に必要な情報を集約
- 患者情報へシームレスにアクセス
- 情報収集や判断にかかる労力削減



2. 情報収集を効率化



3. 多職種での情報共有をサポート

- 患者毎のDPC入院期間や退院準備状況を分かりやすく可視化
- 退院時期を予測するAI搭載
- 計画的な退院準備をサポート



4. 「退院予測AI」*の搭載

*AIの予測対象となる疾患は呼吸器系、循環器系、消化器系です。

ベッドコントロール支援Contentsの機能（1）

【Indicator】

Indicator

①

一般	看護必要度 ①						DPC入院期間				平均 在院日数	患者数	病床数	空床数		③ /02/06(金) 16:26														
	割合①		キャパシティ		割合②	キャパシティ	ICU	HCU	I	II				III	IV	個室	大部室	02/04(金)				02/07(土)				02/08(日)				
	入	退	利用率	入														退	利用率	入	退	利用率	入	退	利用率	入	退	利用率		
一般病棟全体	99.9%	-669人	99.9%	-669人	5人	6人	81.8%	0.0%	0.0%	18.2%	99.9日	11人	436床	206	0	219	2	2	2	2.5%	2	2	2	2.5%	2	2	2	2	2	2
4階東病棟	77.7%	-392人	77.7%	-502人	5人	6人	81.8%	0.0%	0.0%	18.2%	77.7日	11人	40床	22	0	7	2	2	2	27.5%	2	2	2	27.5%	2	2	2	2	2	2
4階西病棟	66.6%	-336人	66.6%	-431人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.6日	0人	53床	37	0	16	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
5階西病棟	44.4%	-224人	44.4%	-287人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4日	0人	42床	18	0	24	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
6階東病棟	33.3%	-168人	33.3%	-216人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3日	0人	49床	25	0	24	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
6階西病棟	22.2%	-112人	22.2%	—人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2日	0人	42床	18	0	24	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
5階東病棟	55.5%	-280人	55.5%	-359人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.5日	0人	42床	18	0	24	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
東5A病棟	—	—人	—	—人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.5日	0人	0床	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
7階東病棟	11.1%	—人	11.1%	—人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1日	0人	42床	16	0	26	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
7階西病棟	199.9%	-154人	199.9%	-167人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	99.9日	0人	42床	18	0	24	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
8階東病棟	188.8%	-148人	188.8%	-160人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.8日	0人	42床	16	0	26	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
8階西病棟	177.7%	-142人	177.7%	-152人	0人	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.7日	0人	42床	18	0	24	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0

②

ICU	看護必要度 ①				算定期間 ②			患者数	病床数	空床数	③ /02/06(金) 16:26																		
	割合		キャパシティ		ICU活用: 7人	キャパシティ	7日以内				8-14日以内	対象外	02/04(金)				02/07(土)				02/08(日)				02/09				
	入	退	利用率	入	退								利用率	入	退	利用率	入	退	利用率	入	退	利用率							
G I C U	88.8%	—	—	-778人	0人	0人	0人	0人	43床	43床	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0

③

救命救急	看護必要度 ①				算定期間 ②			患者数	病床数	空床数	③ /02/06(金) 16:26																		
	割合		キャパシティ		ICU活用: 7人	キャパシティ	3日以内				4-7日以内	8-14日以内	対象外	02/04(金)				02/07(土)				02/08(日)				02/09			
	入	退	利用率	入	退									利用率	入	退	利用率	入	退	利用率	入	退	利用率						
10階東病棟	—	—	—	—	0人	0人	0人	0人	0人	42床	42床	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0

①看護必要度の充足度

前日までの集計結果を元にした看護必要度の充足度を表示し、基準維持の余力を「キャパシティ」としてお知らせします。日々の施設基準準拠をサポートします。

②病床機能に応じた可視化

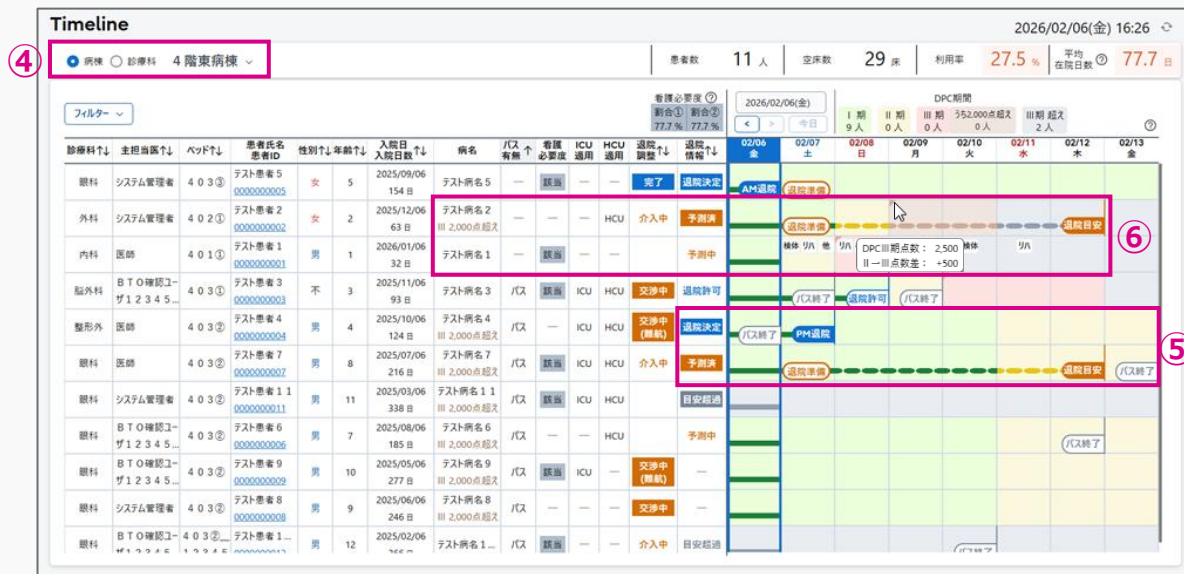
一般病棟に加え、医療機関の届出に応じたICU/救命救急/HCU/地域包括医療ごとの施設基準達成状況や算定状況を表示します。

③病床稼働の見通し

画面をスクロールすることで、向こう10日間の入退院予定と稼働率の推移を表示します。病床稼働の見通しを踏まえたベッドコントロールをサポートします。

ベッドコントロール支援Contentsの機能（2）

【Timeline】



④病棟別・科別表示

多職種での活用を想定して、一覧に表示する入院患者を病棟・診療科で切り替えることができます。

⑤退院準備状況の可視化

退院オーダの発行状況やAI*を活用した退院目安を時系列で表示します。多職種間でゴールを共有し、計画的な退院準備の推進を支援します。 *呼吸器系、循環器系、消化器系が対象

⑥優先度判断材料

DPCⅢになっても2,000点を超える患者やバス適用有無等を分かりやすく表示します。DPCⅢ超え患者はマウスカーソルを合わせること、点数やⅡ→Ⅲでの点数差を確認できます。

ICT活用による勤務環境改善の取組事例紹介に選出

県立広島病院 事例1 地方独立行政法人 県立広島病院

分類13：その他（ベッドコントロール支援） 707床

サマリー

As-Is

導入前の課題

- 電話に依存した非効率な調整：ベッドコントロールを電話連絡で行っており、患者状態の説明、他病棟の状況を説明する時間が都度発生し、医師の待ち時間やスタッフ間の交渉時間が長くなっていた。
- 属人化した病床状況の把握：院内の病床状況を視覚的に把握できず、カルテの複数画面や印刷物で確認する必要があり、調整業務が非効率であった。
- 分散された退院調整情報：退院調整状況が個々のカルテにしか記録されておらず、全体で俯瞰できないため、医師への確認連絡が頻発していた。

To-Be

目指す姿

- システムによる迅速な調整：システム上で病棟全体の病床状況をリアルタイムに共有し、医師の待ち時間や調整時間を削減する。
- 一元化された情報による効率的な状況把握：入院予定を含めた病床状況を単一画面で可視化し、迅速な病床割り振りを要する。
- 可視化された退院調整情報による多職種連携強化：退院調整状況を一元で共有し、医師への不要な問い合わせを削減。多職種カンファレンス等で活用し、適正な在院日数管理を行う。

施策・実施内容

- 富士通Japan株式会社「Healthcare Management Platform ベッドコントロール支援」を導入した。
- 既存の電子カルテシステムから退院調整状況を連携させることで、現場の二重入力の負担を増やさない工夫を行った。
- 導入は、まず平日の日勤業務での利用から開始し、夜間・休日へ拡大する（予定）という段階的な方針をとり、説明会やモデル部署での先行導入、指導者育成といったサポートも実施した。

導入機器

富士通Japan株式会社
「Healthcare Management Platform
ベッドコントロール支援」

対象職種／人数

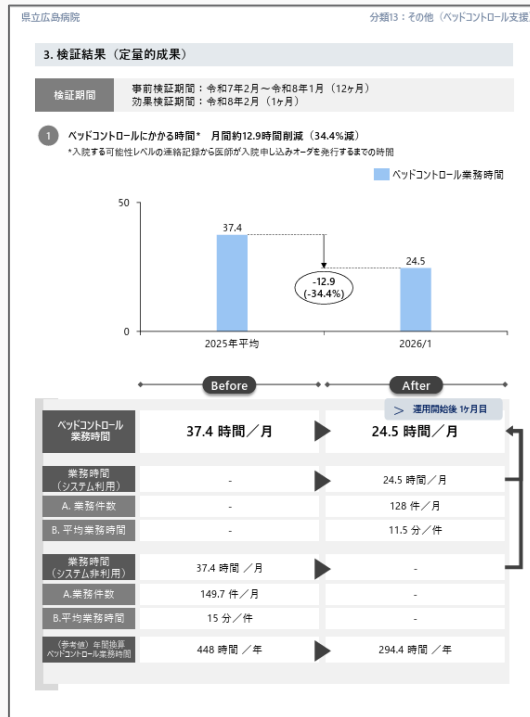
医師：38名、看護専従：53名、
MSW：4名、地域連携看護師：14名、
退院調整スタッフ：3名

業務効率化（定量評価）

・ベッドコントロール調整時間：
15分→11.5分 **実績値**

新たな価値の創出（定性効果）

情報共有の円滑化：
・入院患者のDPC期間や退院調整情報が視覚的に把握しやすくなった。
業務の質の向上：
・一般病床や救命センターなどの稼働状況を一元で、適切な病床の選択が可能になった。
・患者情報をテンプレート入力することで、病棟管理部門での情報把握が容易になり、調整の質が向上した。
多職種連携の促進：
・多職種カンファレンスで画面を共有しながら議論することで、適正な在院日数管理が行え、退院調整業務の質が向上した。



県立広島病院様（707床）での事例

ベッドコントロール調整時間（月間）

37.4時間 ➡ 24.5時間

▲12.9時間
(34.4%減)

業務の質の向上

・病棟管理担当者の患者情報把握の容易化など

多職種連携の促進

・多職種カンファレンスでの活用

経営への貢献

・病床稼働率向上 ・救急受入れを高水準で維持

（出典）厚生労働省 いきいき働く医療機関サポートWeb
【詳細版】ICT活用による勤務環境改善の取組事例紹介

Healthcare Navigation Service

Healthcare Navigation Serviceとは？

現状の把握から課題解決に向けたご提案とソリューションの運用定着を一貫してご支援

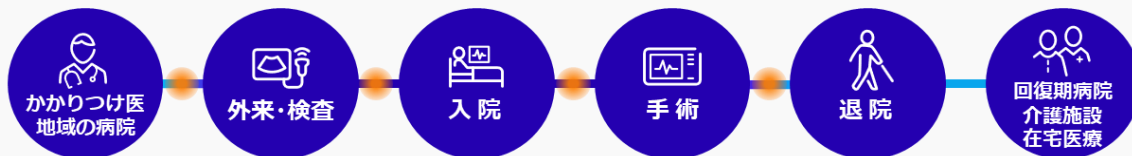
ご支援の流れ

課題把握と
ソリューション
デザイン

ソリューション
提供と導入支援

経営改善に
向けた継続的な
運用支援

ご支援の概要



患者・スタッフのフローを可視化し、データ分析とAIで最適化・効率化して運用の清流化を目指します

ワークショップで関係部署と課題を**可視化・共有**し、施策実施のハードルを下げ、**改善活動を継続的に実施可能**な組織に変革させることで、患者さんと病院職員の満足度が高い運用の実現と経営的な利益を生み出します

実態可視化

改善活動継続の
仕組み作り

病院職員・患者さんの
体験向上

経営改善

Navigation Serviceによる伴走支援

新たなコンテンツを活用した業務変革のご支援と継続的な運用改善に向け、経営層から現場運用に至る経営的な連携体制の強化をサポートします



経営方針と施策の検討

方針に基づく病床の需給調整

病床の需給調整結果を受け、現場判断を実施

経営会議

病床管理

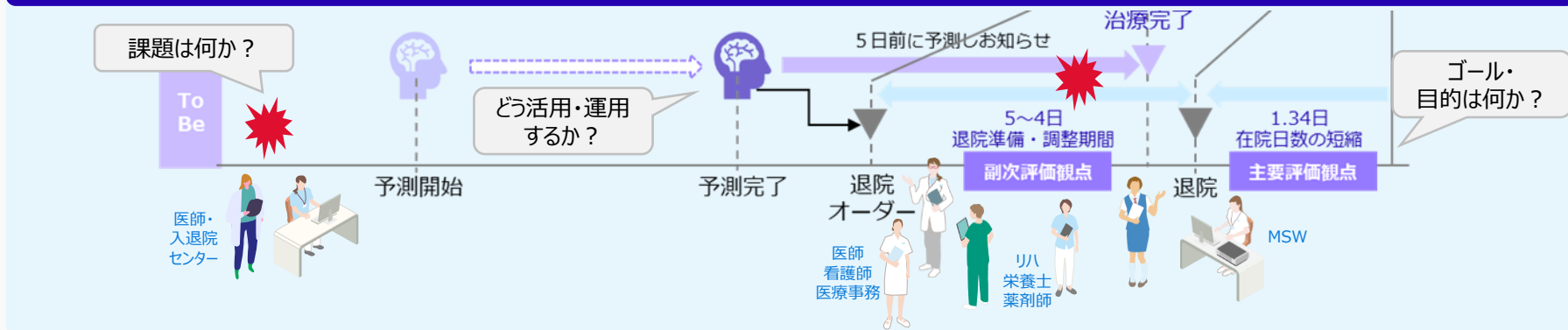
病棟（医師・看護師）

各科・他

例：ベッドコントロールContents活用に向けた運用策定

患者中心のフローマネジメントとベッドコントロールContentsの活用方針について多職種の議論をファシリテートし、運用開始に向けた方針検討をナビゲートします。

サービスデザイン（人中心）を重視し、フロー上のムダ・ムリ・ムラを取り除きながら、患者様に優しく職員にも優しい運用を検討する



現状運用の可視化

- ヒアリング等による現状運用の可視化と改善・変更ポイントの把握

目標の初期設定

- ベッドコントロール方針と目標の初期設定を検討

将来運用とコンテンツ利用のイメージ策定

- 将来運用イメージとコンテンツ活用案の提供（簡易デモを含む）
- 初期導入の対象診療科1科との多職種合同会議による活用方針の検討支援（計2回程度）

初期案：基本運用まとめ

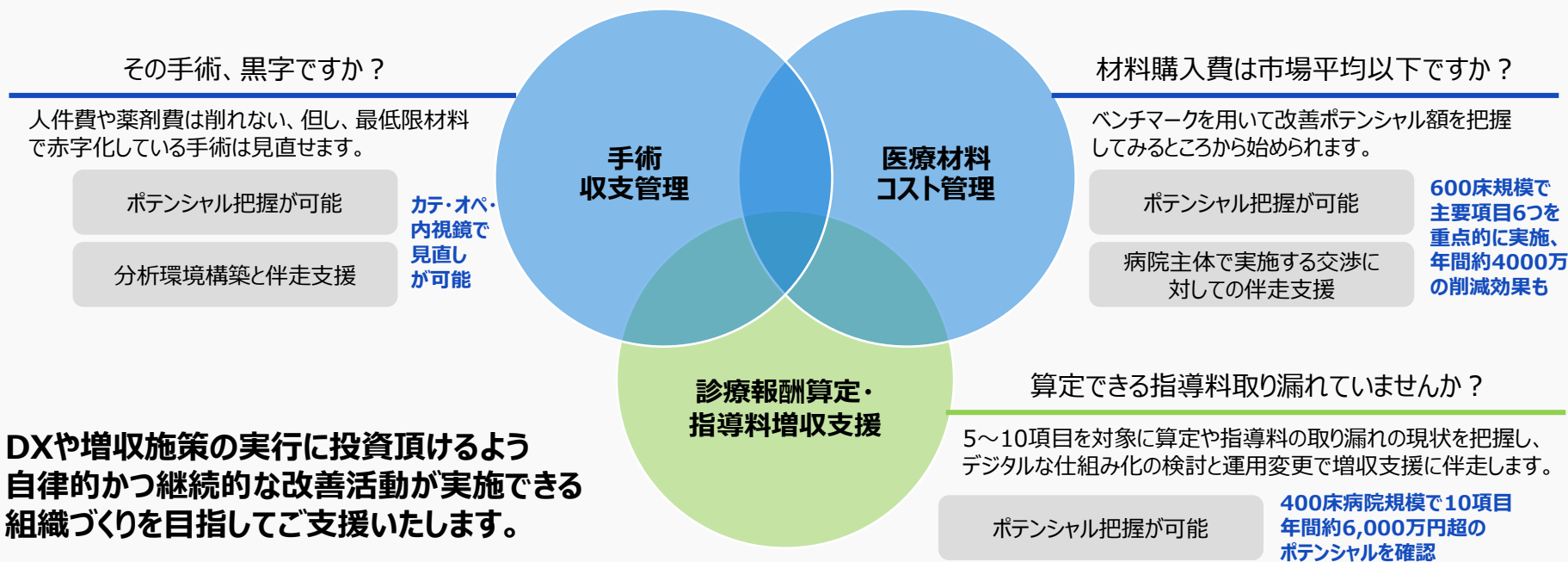


検討結果をとりまとめ提示

例：伴走型経営改善支援

手術あたり材料費のコスト管理、材料購入費の見直し、
さらには富士通ならではの電子カルテ情報を活用した増収に向けた診療報酬算定・指導料増収を伴走型でご支援します。

収益改善に寄与する3本柱



Healthcare Navigation Serviceのメニュー

HealthCare Management Platformと共に、貴院の状況に併せた伴走型の改善支援をご提供いたします。

Navigation Service メニュー		提供サービス概要	
コスト最適化に向けたコスト管理	1 医療材料コスト削減支援	ツールによるデータ分析	医療材料を対象にしたコスト削減支援サービス。 医療材料費の削減ポテンシャル分析、価格交渉に向けた施策立案等を支援。 ※原則、価格交渉は貴院職員様にて担当いただきます
	2 手術収支分析支援		オペ室、カテ室、内視鏡における術式別医療材料のコスト分析／管理サービス。 各科の状況を踏まえつつ医療材料の標準化を後押し、コストコントロールの促進をご支援。
収益改善支援	3 診療報酬算定・指導料増収支援		指導管理料等の算定向上、算定漏れ改善を対象にしたサービス。 現状プロセスの課題確認、スタッフ動線・各種オダ運用等を含め運用改善をご支援。
稼働率向上のためのフローマネジメント	4 戦略的集患対策	LEAN手法を用いたPFM構築	「紹介～外来初診まで」のフロー清流化と新規入院および病床稼働率向上の支援サービス。 集患に関する現状分析、戦略・アクションプランの立案、改善活動をご支援。
	5 入退院業務改善支援		「入院オーダー～退院まで」を対象に患者フローマネジメント強化に向けた支援サービス。 電子カルテやHealthCare Management Platform等を活用し、後方連携の改善立案等をご支援。
	6 手術業務効率化支援		手術部門の効率的な運営に向けた業務プロセス分析／改善支援サービス。 データを活用した現状分析、ワークショップでの課題抽出～改善施策実行管理までをご支援。
	7 検査効率化支援		予約管理を伴う検査業務の効率的な運営に向けた運用改善支援サービス。 滞在時間の最短化や滞留解消を目指し、患者・職員の満足度向上への施策立案等をご支援。

Thank you

富士通Japan株式会社
ヘルスケア事業本部 HMP拡販担当
メール：fjj-HMPpromotion@dl.jp.fujitsu.com